

企業が抱える課題の根源を探り、具体的な解決策を発見！

生産性を上げるには、

“根回し”と“集中する”ことだった。

～ 働き方改革の推進、長時間労働の解消、生産性の向上のヒント ～

ビジネスシーンを模擬体験させ、その行動を分析することができる“インバスケット”を日本で唯一、専門に扱う株式会社インバスケット研究所（大阪・堺市 代表取締役 鳥原隆志）は、20～60代の男女50名を対象に「時間管理ができる人」の行動特性（※）を調査しました。

対象者には、普段の時間の使い方に関するアンケート（業種・職種、一か月の平均残業時間、部下の人数など（詳細は2ページにて））とインバスケット・ゲームを回答してもらい、行動を点数化することでデータを集めました。

$$\frac{\text{仕事量}}{\text{人数} \times \text{生産性}} = \text{労働時間}$$

時間管理ができる人を「残業時間が少ない人」、「部下人数が多い人」、「予定を正確に把握している人」と仮説を立て、調査を実施し、次のようにまとめました。

調査の切り口	仮説	結果
時間管理が出来ている人とは？	残業時間が少ない人	仕事の障害を取り除いておくための根回しができる
	部下人数が多い人	対人関係能力（労いや感謝）の発揮を留めている
	予定の把握ができる人	優先順位を考慮し、重要な事に集中している

（※）行動特性とは・・・成果を上げ続ける人に共通する行動やプロセスのこと

株式会社インバスケット研究所 大阪本社（代表取締役 鳥原 隆志）

〒599-8237 大阪府堺市中区深井水池町 3152 KU深井オフィスビル4階

TEL： 072-242-8970 / FAX： 072-242-8960

◇広報担当者 唄(ばい) 麻里絵 [houjin@inbasket.co.jp](mailto:houjin@inbasket.co.jp)

◇調査担当者 山下 竜治

【調査方法の詳細】

- ・調査期間…2018年7月21日～9月11日
- ・調査対象…20～60代の男女
- ・有効回答数…50名
- ・調査方法…インバケット・ゲーム(※1)の実施、アンケート調査(※2)

(※1) 使用したインバケット・ゲームの設定:

舞台設定: 総合旅行会社 「株式会社バリュートラベル九州」国内商品企画課 課長

想定内容: 旅行会社の国内商品企画課長として着任し、部下からの相談や提案、他部署からの要望、突発的なトラブル、店舗の運営改善などへの対応を行う。

(※2) アンケート調査の詳細:

アンケートのお願い

座席番号 \_\_\_\_\_

この度は、モニタリングにお越しいただき誠に有難うございます。  
本アンケートは、スコアリングの発展・精度向上をはじめ、今後より良いサービスの開発・研究を目的としております。お手数ではございますが、ご協力をお願いいたします。

本アンケートで得られた個人情報に関しては、研究・開発の目的のみで使用し、ご本人の同意なく第三者に開示・提供することはいたしません。また、個人を特定し得る情報を削除し、統計的に処理した上で、本アンケートのデータを使用させていただきます。

1. 職種・業種をお教えください。

職種	業種
----	----

2. 残業時間は一か月あたり平均何時間ですか？

	平均	時間
--	----	----

3. 繁忙期と閑散期の残業時間は一か月あたり平均何時間ですか？

	繁忙期	時間
	閑散期	時間

4. ご自身の残業時間は、同僚の平均と比べてどうですか？  
あてはまるものに☑を付けてください。

多いほうだ  どちらかといえば多い  どちらともいえない  どちらかといえば少ない  少ないほうだ

5. 現在ご自身が任されている業務はいくつありますか？  
任されている業務の種類を書き出して個数を記入してください。

	合計	種類
--	----	----

裏面にも続いております。

6. 来週一週間の仕事の予定を立ててください。

0時	6時	12時	18時	24時
⑤	出社	メールチェック	昼食	会議
			顧客訪問	会議
				退社

1日目

0時	6時	12時	18時	24時
----	----	-----	-----	-----

2日目

0時	6時	12時	18時	24時
----	----	-----	-----	-----

3日目

0時	6時	12時	18時	24時
----	----	-----	-----	-----

4日目

0時	6時	12時	18時	24時
----	----	-----	-----	-----

5日目

0時	6時	12時	18時	24時
----	----	-----	-----	-----

7. ご自身の所属する会社の総従業員数は約何名ですか？  
あてはまるものに☑を付けてください。(役員、アルバイト、パート含む)

100人未満     100～300人     300～1,000人  
 1,000～3,000人     3,000～10,000人     10,000人以上

8. ご自身が抱えている部下は約何名ですか？(直下の部下のみ)

約 \_\_\_\_\_ 名

アンケートは以上となります。ご協力いただき誠にありがとうございました。

【検証方法の詳細】

＜仮説＞残業時間が少ない人である。

＜検証＞残業時間の多い／少ないでグループに分けた。

A グループ＝残業が多い（平均 37 時間）

B グループ＝残業が少ない（平均 6 時間）

この二つのグループでは、「根回し（※3）をする」という行動に差があった。

A グループ＝根回しが少ない（出現率 0.15）（※4）

B グループ＝根回しが多い（出現率 0.63）

＜結論＞仕事量を減らせる人は、仕事の障害を取り除いておくための根回しができるため、残業時間が少ないといえる。

＜仮説＞部下人数が多い人である。

＜検証＞部下がいる／いないでグループに分けた。

A グループ＝部下がいる（平均 7.2 人）

B グループ＝部下がいない（0 人）

この二つのグループでは、「対人関係能力（労いや感謝）」に差があった。

A グループ＝発揮していない（出現率 5.42）

B グループ＝発揮されている（出現率 9.85）

＜結論＞部下人数が多い人は、部下が増えても、限られた時間を有効活用するために対人関係能力（労いや感謝）をコントロールし、留めているといえる。

＜仮説＞予定の把握ができる人である。

＜検証＞未来の予定を詳細に記入できる／できないでグループに分けた。

A グループ＝予定の記入が多い（平均 39.6 個）

B グループ＝予定の記入が少ない（平均 26.6 個）

この二つのグループでは、「優先順位の設定」に差があった。

A グループ＝発揮していない（出現率 6.31）

B グループ＝発揮されている（出現率 5.35）

さらに、A グループの人は、処理した案件の数が少ないことがわかった。

＜結論＞生産性を上げられる人は、先々の予定を細かく把握しており、限られた時間でやるべきことを理解し、やるべきことに集中して取り組んでいるといえる。

（※3）根回しとは・・・報告連絡相談、キーパーソンの巻き込み説得などの行動

（※4）出現率とは・・・回答される行動が出現する確率

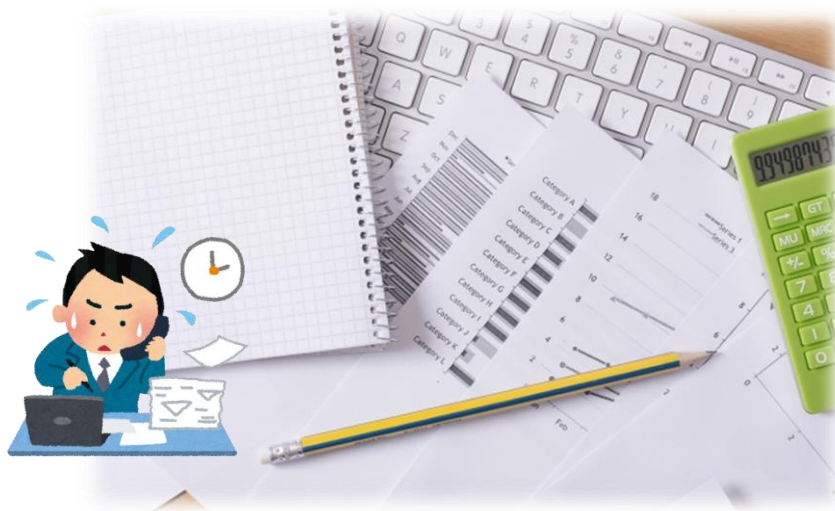
### 【インバスケツトとは？】

1950年代にアメリカ空軍で導入されたトレーニングツールで、決裁がされていない書類が入った「未処理箱」を意味します。

このシミュレーションでは、あなたがいま置かれている状況、つまり「限られた時間の中で、最大限成果につながる処理を行う」必要があります。

それぞれの処理内容に正解はありませんが、どのようなプロセスを辿り、どのような判断を下したのか、その“行動”がその人の思考であり特性なのです。

実際の研修では、“まったく同じ条件・状況”で処理をした他の受講者と意見交換をすることで、行動の選択肢に気づき、あなたが発揮できていなかった能力を引き出します。従来の“知識詰め込み”型の研修とは異なり、それまでに行われた教育・研修内容を“実践に繋げることができる”と言うのが受講者にも、教育担当者にも人気を博しつつあります。



【 インバスケツト研究所 】

◆事業内容

- インバスケツト法を用いた個人・法人向け教材開発・販売
- インバスケツト法を用いた人材育成、並びに能力開発に関する各種セミナー
- 講習会・研修会の企画・開催、並びに運営・管理
- インバスケツト法を用いたヒューマンアセスメントに関する情報、並びにサービスの提供
- マーケティングリサーチ業務、及び経営コンサルタント業務 など

◆主な取引先

株式会社吉野家ホールディングス	グループアカデミー	宮崎県自治研究所
株式会社ノーリツ		茨城県自治研究所
大阪朝日新聞販売協同組合		神戸市役所
医療法人 清和会		三井住友海上プライマリー生命保険株式会社
早稲田大学 エクステンションセンター		株式会社静岡朝日テレビ
株式会社日経 BP 社 (課長塾)		NTT ファイナンス株式会社

《講演実績》

(一社) 全国信用金庫協会	学校法人常翔学園 摂南大学
兵庫県職業能力開発協会	日本食研ホールディングス株式会社
パナソニックグループ労働組合連合会	SMBC コンサルティング株式会社
中外製薬株式会社 労働組合	京王電鉄バス株式会社
(一社) 日本フランチャイズチェーン協会	西日本電信電話株式会社
福井県庁	みずほ総合研究所株式会社
公立大学法人 熊本県立大学	NEC グループ労働組合連合会

他

◆沿革

- 2009年 11月 日本初のインバスケツト専門機関として「株式会社インバスケツト研究所」設立  
本社を大阪府堺市深井沢町に置く
- 2011年 6月 書籍『究極の判断力を身につける！インバスケツト思考』をWAVE出版より発売
- 2012年 5月 書籍『究極の判断力を身につける！インバスケツト思考』がビジネス書大賞 2012  
書店賞を受賞
- 2013年 4月 東京都港区新橋に「東京オフィス」を開設
- 2013年 6月 三井住友海上プライマリー生命保険株式会社様と業務提携、共同開発を発表
- 2013年 12月 大阪府堺市深井水池町に本社を移転
- 2015年 6月 第1回「判断力検定試験」実施
- 2016年 5月 東京オフィスを東京本社とし、東京都江東区へ移転

また、弊社代表 鳥原隆志の執筆本は40冊以上あり、累計発行部数は70万部以上に及ぶ。

